

廃棄物処理・リサイクル・OT導入促進協議会

「令和」を拓く 資源循環イノベーション

⑤



山本 雅資

富山大学研究推進機構極東
地域研究センター
副センター長 教授

新しい時代となった今から振り返ると平成の中頃と位置付けられる2000年前後にわが国の資源循環政策は大きな転換期を迎えていた。いわゆる循環基本法や各種リサイクル法が相次いで整備され、現在の廃棄物・リサイクル政策の原型が形作られた時期である。その後も精力的な見直しが続けられ、同時に各種業界団体の協力もあり、平成の終わりにかけて確実かつ安定的に法制度が目指す方向に進んでいた。

待っていたかのように、昨年からの今年にかけて資源循環政策を取り巻く環境は大きく変化した。その注視しなければならぬ点として、新しい時代に書が増加があげられる。台風による河川氾濫等の水害リスクは今後も毎年策形成のイノベーションとして2つの期待を述べ

「健康診断を受ける」という健康になる」と考えるのではなく、「普段から健康に関心が高い健康的な生活を送っている人の受診率が高い」という実態が明らかになったとみるべきであろう（大学公共の受診率は低い一方で、健康診断の受診の有無と健康状況を比較すること、健康診断という政策は、健康診断と異なる人

新技術に対応した政策イノベーションのススメ

19年は資源循環政策の新たな転換期の始まり

の1つは国際情勢で、昨年本格化した中国の輸入禁止措置やEUによるサーキュラーエコノミーの推進はわが国の今後の資源循環政策に大きく影響する。また、もう一つの変化として気候変動による災害の増加があげられる。台風による河川氾濫等の水害リスクは今後も毎年策形成のイノベーションとして2つの期待を述べ

「健康診断を受ける」という健康になる」と考えるのではなく、「普段から健康に関心が高い健康的な生活を送っている人の受診率が高い」という実態が明らかになったとみるべきであろう（大学公共の受診率は低い一方で、健康診断の受診の有無と健康状況を比較すること、健康診断という政策は、健康診断と異なる人

「健康診断を受ける」という健康になる」と考えるのではなく、「普段から健康に関心が高い健康的な生活を送っている人の受診率が高い」という実態が明らかになったとみるべきであろう（大学公共の受診率は低い一方で、健康診断の受診の有無と健康状況を比較すること、健康診断という政策は、健康診断と異なる人

わりに、透明なボックスを用意して「どちらのチームが勝つと思うか？」と書き、吸殻を捨てられるように両チームの名前の下に小さな穴を開けた。これにより鼻のチームが勝つという「声援」を送りたいサポーターがホイ捨てをやめて、この透明な吸殻入れにタバコを自発的に入れるようになったという例がある。類似の取り組みは食品ロスや事業系一般廃棄物の削減につながるような分別行動にすぐに応用できるであろう。